

平成16年4月 1日から
平成17年3月31日まで

平成16年度（第58年度）
事業計画書・収支予算書

財団法人 三越厚生事業団

財団法人 三越厚生事業団 平成16年度(第58年度)事業計画書

はじめに

日本経済も厳しい環境には変わりありませんが、少し明るいニュースも聞こえてくるようになって、市民生活も落ち着きを取り戻しつつあるように見えます。しかし現実には生活に不安を感じている人がまだまだ多く、勝ち組、負け組といわれる格差はますます拡大していることも事実で、厳しい競争社会がこれからも続いていくことは間違いありません。そうであればあるほど市民生活を支えるために温もりのある社会が要求され、社会貢献活動の重要性、必要性が叫ばれている時代といえます。

設立以来変化する時代に適切に対応し、受益者の視点に立って継続し拡大してきた公益活動を、今後も着実に実行し続けることが当財団に与えられた使命と考えております。しかし公益法人も一部の公益法人の不正から端を発したとも言われる「公益法人の抜本的改革」が、その法人制度、税制、法人類型及び運営上のガバナンス、会計基準などに至るまで改革の俎上にあげられております。

これからも設立時の使命を果たすために、又新しい時代に継続、発展していくために、本年度は自立性の高いガバナンス、コンプライアンスを強化する視点から、寄附行為を見直し、「公益法人の設立許可及び指導監督基準」〔平成8年閣議決定〕更にそれに基づく東京都の「公益法人の手引き」との整合をはかり、事業項目を明確に致しました。

本年はその寄附行為に沿って諸事業を実施してまいります。実施に当っては不安定な経済環境に鑑み、効率を重視した運営に努め、大切な資源を「受益者」のための事業に最大限確保するように一層の努力をいたします。

特に本年度は重要な事業であります低額集団健診の先進化へのステップとしてコンピューターシステムを一新いたします。これにより受診者にわかりやすい結果のフィードバックはもとより、6段階の判定基準による適切な生活指導の実施や時系列データ管理で、将来の発症するリスクを最小限にする予防の継続的なアフターケアの取り組みを計画しております。(本年5月導入予定)

無料巡回健診も昨年度より一施設加え実施すると同時に、現在行っている健診の結果とその対策会議(各施設に於いて実施)を充実いたします。更に地域密着型で好評の健康セミナー開催の充実とともに福祉施設の援助活動も積極的に行います。「生活習慣病を克服しよう」という使命の下、このような活動を通して各部門で職員各自が研究活動に精励し、その成果を様々な機会に積極的に公表する活動をしっかりサポートしていきます。

いまだ明確な回復の兆しが見えない状況ですので事業活動の運営に職員一同、万全を期して臨む決意でおります。

本年も四半期レポートとして、四半期単位の事業報告並びに収支状況をお届けいたしますので、三越厚生事業団のホームページの情報と併せご覧いただき、ご意見をいただければ幸いです。

三越厚生事業団ホームページ

URL : <http://www.mhwf.or.jp>

E-mail : mhwf@f5.dion.ne.jp

寄附行為事項

< 事業の計画概要 >

- 1 生活習慣病の予防、診断、治療に関する研究事業（寄附行為第4条第1号事業）
各部門のそれぞれの領域で課題研究を進めて3年目になります。本年度はその研究に関して外部医師の評価も含め発表方法、研究論文等も評価し、職員の知識、技術の向上に留まらず、その成果を積極的に広める活動を強化する。

（1）事業団職員の研究活動（年間、場所は施設内を予定）

前年度研究各部門発表会と審査及び本年度研究テーマ決定（5月）

研究予算決定（6月）

プログレスレポート提出（12月）

その他、学会発表、講演会、論文発表など（随時）

- 2 生活習慣病その他重要な疾病の予防及び健康の保持増進に関する事業（同条第2号事業）
早期発見、早期治療は勿論のこと、予防及び健康の保持増進策の重要性が叫ばれ、関心を集めています。それに応えるべく、検査データの経年管理、健康保持増進の視点から健診データ管理システムを再構築し、それに連動した低額集団健診、無料巡回健診と健康の保持増進をはかる懇話会を推進いたします。

（1）低額集団健診事業（年間）

検査結果の6段階の基準による分類と適切な指導及び経年の結果からみた健康増進対策健康指導の履歴及び治療記録などのデータ処理システムを新規導入（5月予定）し、より有効な検査項目の導入や見直しを行い、生活習慣改善のフォローアップ施策の充実を図る。同時に栄養相談や生活習慣病に関する相談事業も積極的に行う。

（2）健診報告懇話会（12月予定、場所未定）

各健診受託先との間で、健診結果を基に健康管理責任者と懇話会の実施結果報告と対応策及び次年度の健診方針の説明と確認

（3）無料巡回健診（6月予定、延べ10日間、場所各施設）

施設 多摩同胞会信愛緑苑、同信愛和泉苑、滝乃川学園成人部、同児童部
至誠ホーム、聖明園寿荘、同曙荘、同富士見荘、
正夢の会パサージュいなぎ、軽費老人ホームサンホーム、光園

延べ2000名 血液検査、胸部X線撮影、心電図

医師、保健師による報告会議（7、8月予定、場所は各施設）

- 3 生活習慣病その他重要な疾病の予防、診断、治療に関する助成事業（同条第3号事業）
生活習慣病をテーマに課題設定で行う公募による研究助成と、海外留学で受入先の決定している者へ渡航費を助成する事業。

（1）医学研究助成（6月公募、8月締め切り、11月決定、12月助成予定）

生活習慣病の課題を設定し、地域を東京都に限定した助成事業。

人数の限度、一件当たり限度額等特になし 総額 1500万円

（2）海外渡航費助成（6月公募、8月締め切り、11月決定、12月助成予定）

最大6名、一件 50万円 総額 300万円

4 健康の保持増進のための援助事業（同条第4号事業）

ますます重要性を増している健康の保持増進に関する事業の促進や底辺の拡大等を目指して援助する事業として、対象を青少年や老人、盲人、施設等の恵まれない人々の主にスポーツやウォーキング、レクリエーションに対して行う援助事業。

（1）援助事業（各大会開催月に実施）

東京都児童福祉施設競技大会

主 催：社会福祉法人東京都社会福祉施設協議会

競技種目：ドッチボール大会、バレーボール大会、野球大会（7月予定）

参加人員：ドッチボール大会 約20施設 約500名予定

バレーボール大会 約15施設 約250名予定

野球大会 約15施設 約350名予定

場 所：ドッチボール・バレーボール大会 東京体育館

野球大会 未定

援助内容：各競技用具及び参加賞等の援助

三多摩児童養護施設駅伝・マラソン大会（2月予定）

主 催：三多摩児童養護施設長会及び社会福祉法人東京都福祉協議会児童部会

競技種目：学年別 駅伝、マラソン大会

参加人員：約13施設 約500名予定

場 所：国営昭和記念公園（予定）

援助内容：大会記念タオルの援助

その他協力

日本万歩クラブ（ウォーキングの普及、当診療所の受診者の健康増進指導）

聖明福祉協会（盲老人、虚弱高齢者の方々の健康促進）

財団法人がんの子供を守る会（がん撲滅運動への援助）

5 保健衛生思想の普及（同条第5号事業）

生活習慣病の克服と豊かで健康な生活の実現を目指して、様々な機会を通して思想の普及をはかる事業で、特に講演や映像による啓蒙、普及活動を強化する。

（1）健康セミナーの開催（年間5回予定）

「生活習慣病から身を守るには」をテーマに講演会を開催、同時に健康相談等を含む質問を受け回答するほか、ホームページでのフォローも実施する。

400人 500人規模のセミナーを3回予定。会場は三越劇場、京王プラザホテル他を予定。

100人規模の地域密着型健康セミナーを2回予定。会場は多摩センター三越他を予定。

（2）広報活動（9月、2月予定）

東京都及び厚生労働省の健康キャンペーンを放映し保健衛生思想の普及に貢献する。

日本最大の歩行者の通行量を持つ新宿東口アルタビジョンと銀座4丁目三越ビジョンを利用し、同時に9月、2月の2ヶ月間に亘って連日、1時間毎に放映予定。

6 診療施設の設置運営（同条第6号事業）

健診の適切な指導及び臨床経験による医療の知識と技術の向上に留まらず日常の診療を充実させ、地域の住民や、勤務者の便宜をはかることを目的に運営。

(1) 診療事業 (収益事業)

低額集団健診事業と緊密な連携をとり、健診結果に万全を期すと共に、一般外来患者に対し内科、小外科、婦人科の診療事業を行う。

診療日も祝祭日と日曜日を除いて開業し、地域の利便性に供している。

< 公益事業と附帯診療事業との関係 >

本財団は公益事業として様々な事業を展開しておりますが、とりわけ予防医学的見地や健康の保持増進の見地から生活習慣病健診、無料巡回健診、健康セミナーの開催などを実施しており、そのために医師はじめ医療技術者など多くの職員を確保しております。これらの公益事業を担う職員にとって、研究活動を行うと同時に臨床経験を積み重ねることにより、常に医療における知識と技術の向上に努める必要性があります。その意味でも寄附行為第4条6号にあるように、診療施設の運営に関してこれらの職員を活用し、健診結果によって適切な治療や専門医紹介等を行い、研究活動に留まらず、日常の診療を充実し、都心に戻りつつある地域の居住者や企業勤務者の便宜に供する診療所を運営しております。

管理・運営事項

1 理事会・評議員会の開催等

評議員会

開催日 平成16年4月

場所 株式会社三越本社会議室

議題 1.平成15年度事業報告及び収支決算の審議について
2.その他

理事会

開催日 平成16年4月

場所 株式会社三越本社会議室

議題 1.平成15年度事業報告及び収支決算の承認について
2.その他

評議員会

開催日 平成17年3月

場所 株式会社三越本社会議室

議題 1.平成17年度事業計画及び収支予算の審議について
2.その他

理事会

開催日 平成17年3月

場所 株式会社三越本社会議室

議題 1.平成17年度事業計画及び収支予算の承認について
2.その他

2 登記事項

資産総額登記 平成16年5月

3 報告事項

毎四半期の事業報告を6月・9月・12月の3回、理事・監事・評議員全員に送付し、意見・提案等を頂き事業活動に反映する。

収支予算書総括表

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

収入の部

(単位:千円)

大科目	合計	一般会計	診療事業特別会計	内部取引消去
財産運用収入	120,620	120,620	0	0
事業収入	623,000	400,000	223,000	0
低額集団健診事業収入等	400,000	400,000	0	0
診療事業収入	223,000	0	223,000	0
雑収入	42,000	40,500	1,500	0
特定預金取崩収入	5,000	5,000	0	0
繰入金収入	0	0	0	0
当期収入合計 (A)	790,620	566,120	224,500	0
前期繰越収支差額	927,385	605,044	322,341	0
収入合計 (B)	1,718,005	1,171,164	546,841	0

支出の部

大科目	合計	一般会計	診療事業特別会計	内部取引消去
事業費	762,950	538,450	224,500	0
低額集団健診事業費等	538,450	538,450	0	0
診療事業費	224,500	0	224,500	0
管理費	147,800	147,800	0	0
固定資産取得支出	0	0	0	0
特定預金支出	5,000	5,000	0	0
繰入金支出	0	0	0	0
法人税等	0	0	0	0
予備費	479,914	479,914	0	0
当期支出合計 (C)	1,395,664	1,171,164	224,500	0
当期収支差額 (A) - (C)	605,044	605,044	0	0
次期繰越収支差額 (B) - (C)	322,341	0	322,341	0

注記事項

1. 借入金限度額 300,000千円

平成16年度収支予算書 (一般会計)

平成16年4月 1日から平成17年3月31日まで

収入の部

(単位:千円)

勘定科目		予算額			備考
大科目	中科目	本年度	前年度	増減	
基本財産運用収入		120,620	120,620	0	
	基本財産配当収入	120,600	120,600	0	
	基本財産利息収入	20	20	0	
事業収入		400,000	420,010	20,010	
	低額集団健診事業収入	400,000	420,010	20,010	
雑収入		40,500	37,300	3,200	
	受取利息	40,000	37,000	3,000	
	雑収入	500	300	200	
特定預金取崩収入		5,000	16,000	11,000	
	退職給与引当預金取崩収入	5,000	16,000	11,000	
	減価償却引当預金取崩収入	0	0	0	
繰入金収入		0	880	880	
	繰入金収入	0	880	880	
当期収入合計 (A)		566,120	594,810	28,690	
前期繰越収支差額		605,044	624,517	19,473	
収入合計 (B)		1,171,164	1,219,327	48,163	

支出の部

勘定科目		予算額			備考
大科目・中科目	小科目	本年度	前年度	増減	
1 事業費		538,450	551,320	12,870	
1 研究事業費		12,260	11,560	700	
	研究費	5,000	5,000	0	
	学会費	2,000	2,000	0	
	諸会費	1,200	1,100	100	
	旅費交通費	1,500	1,400	100	
	研修会謝礼金	300	300	0	
	通信費	60	60	0	
	消耗品費	100	100	0	
	印刷製本費	100	100	0	

勘 定 科 目		予 算 額			備 考	
大科目・中科目	小 科 目	本年度	前 年 度	増 減		
2 予防及び健康 保持増進事業費	図 書 購 入 費	1,000	1,000	0		
	雑 費	1,000	500	500		
			474,900	494,550	19,650	
	(低額集団健診事業費)		462,200	481,900	19,700	
	給 料	120,000	123,000	3,000		
	手 当	50,000	50,000	0		
	退 職 金	5,000	15,000	10,000		
	福 利 厚 生 費	27,000	27,000	0		
	旅 費 交 通 費	5,000	5,000	0		
	臨 時 雇 賃 金	20,700	25,700	5,000		
	通 信 費	2,500	2,000	500		
	什 器 備 品 費	500	1,000	500		
	機 器 リ 一 入 料	45,000	30,000	15,000		
	検 査 ・ 材 料 費	52,000	56,000	4,000		
	消 耗 品 費	8,700	8,200	500		
	修 繕 費	10,000	13,000	3,000		
	印 刷 製 本 費	5,000	4,500	500		
	水 道 光 熱 費	4,000	4,000	0		
	借 室 料	68,500	68,500	0		
	火 災 保 険 料	100	100	0		
	租 税 公 課	13,000	18,500	5,500		
	共 益 費	17,100	17,600	500		
	清 掃 費	1,100	1,100	0		
	雑 費	7,000	11,700	4,700		
	(健診報告懇話会)		1,000	1,000	0	
	会 場 費	700	700	0		
	講 演 謝 礼 金	50	50	0		
交 通 費	20	20	0			
通 信 費	30	30	0			
雑 費	200	200	0			
(巡回無料健診)		11,700	11,650	50		
旅 費 交 通 費	100	100	0			
臨 時 雇 賃 金	300	300	0			
検 査 ・ 材 料 費	11,000	11,000	0			
雑 費	300	250	50			
3 助成事業		19,940	19,840	100		
医 学 研 究 助 成 金		15,000	15,000	0		
渡 航 助 成 金		3,000	3,000	0		
助 成 金 選 考 謝 礼 金		1,000	1,000	0		
旅 費 交 通 費		100	100	0		
印 刷 製 本 費		300	200	100		
通 信 費		40	40	0		
雑 費		500	500	0		

勘 定 科 目		予 算 額			備 考
大科目・中科目	小 科 目	本 年 度	前 年 度	増 減	
4 健康保持増進 援助事業	援 助 費 協 賛 援 助 費 通 信 費 雜 費	4,150 1,100 3,000 0 50	4,170 1,100 3,000 20 50	20 0 0 20 0	
5 保険衛生思想 普及事業	セ ミ ナ ー 費 広 報 費 通 信 費 印 刷 製 本 費 雜 費	27,200 15,000 7,500 300 4,000 400	21,200 10,000 7,500 300 3,000 400	6,000 5,000 0 0 1,000 0	
2 管 理 費	役 員 報 酬 給 料 手 当 退 職 金 福 利 厚 生 費 旅 費 交 通 費 臨 時 雇 賃 金 会 議 費 交 際 費 通 信 費 什 器 備 品 費 機 器 リ ー 入 料 消 耗 品 費 修 繕 費 印 刷 製 本 費 水 道 光 熱 費 借 室 料 火 災 保 險 料 租 税 公 課 共 益 費 清 掃 費 雜 費	147,800 32,000 25,000 13,000 1,000 10,000 2,500 500 1,500 1,500 800 100 2,500 1,000 1,500 1,000 1,000 38,000 100 1,000 5,500 300 8,000	181,000 32,000 35,000 14,000 1,000 10,000 3,000 500 1,800 2,000 1,200 500 2,500 1,400 1,900 1,000 1,300 57,000 100 1,000 5,500 300 8,000	33,200 0 10,000 1,000 0 0 500 0 300 500 400 400 0 400 400 0 300 19,000 0 0 0 0 0	
3 固定資産取得支出	建 物 造 作 建 物 附 属 設 備	0 0 0	0 0 0	0 0 0	
4 特定預金支出	退職給与引当預金支出 減価償却引当預金支出	5,000 5,000 0	20,000 10,000 10,000	15,000 5,000 10,000	
5 予 備 費	予 備 費	479,914 479,914	467,007 467,007	12,907 12,907	
当 期 支 出 合 計 (C)		1,171,164	1,219,327	48,163	
当 期 収 支 差 額 (A)-(C)		605,044	624,517	19,473	
次 期 繰 越 収 支 差 額 (B)-(C)		0	0	0	

平成16年度収支予算書 (診療事業特別会計)

平成16年4月 1日から平成17年3月31日まで

収入の部

(単位:千円)

勘定科目		予 算 額			備 考
大 科 目	中 科 目	本 年 度	前 年 度	増 減	
事 業 収 入 雑 収 入	診 療 報 酬	223,000	230,000	7,000	
	雑 収 入	1,500	1,500	0	
当 期 収 入 合 計 (A)		224,500	231,500	7,000	
前 期 繰 越 収 支 差 額		322,341	308,907	13,434	
収 入 合 計 (B)		546,841	540,407	6,434	

支出の部

勘定科目		予 算 額			備 考
大 科 目・中 科 目	小 科 目	本 年 度	前 年 度	増 減	
診 療 事 業 費		224,500	227,100	2,600	
	給 料 手 当	89,000	104,500	15,500	
	退 職 金	7,000	1,000	6,000	
	福 利 厚 生 費	15,000	16,000	1,000	
	旅 費 交 通 費	2,000	2,500	500	
	臨 時 雇 賃 金	10,000	14,000	4,000	
	通 信 費	300	450	150	
	什 器 備 品 費	1,000	1,000	0	
	機 器 リ ー 入 料	10,050	9,000	1,050	
	検 査 ・ 材 料 費	20,000	22,000	2,000	
	薬 品 費	8,000	12,000	4,000	
	消 耗 品 費	3,000	4,000	1,000	
	修 繕 費	3,000	4,000	1,000	
	印 刷 製 本 費	2,000	2,000	0	
	水 道 光 熱 費	2,500	2,800	300	
	租 税 公 課	3,300	3,300	0	
	借 室 料	32,500	13,500	19,000	
	共 益 費	11,150	11,150	0	
	清 掃 費	700	900	200	
	雑 費	4,000	3,000	1,000	
繰入金支出		0	880	880	
繰入金支出		0	880	880	
法人税等		0	978	978	
法人税・都民税		0	978	978	
当 期 支 出 合 計 (C)		224,500	228,958	4,458	
当 期 収 支 差 額 (A) - (C)		0	2,542	2,542	
次 期 繰 越 収 支 差 額 (B) - (C)		322,341	311,449	10,892	